

お知らせ

令和7年度「文芸講演会」を開催します

著名な作家をお招きし、作家とのふれあいを通して、県民の皆様の読書への関心を一層高めるため、毎年文芸講演会を開催しています。

今年度は、栃木市皆川城址が舞台の『皆のあらばしり』、足利市が舞台の「生き方の問題」(『最高の任務』所収)等を執筆された、乗代雄介氏を講師にお招きします。

皆様のご参加をお待ちしています。

〔日時〕 令和7(2025)年11月29日(土) 13時～
(開場 12時30分)

〔会場〕 栃木県庁舎 研修館 講堂

〔内容〕 優良読書グループ表彰式
講演「小説と風土 -栃木で物語を探した日々-」
講師:小説家 乗代 雄介(のりしろ ゆうすけ)氏

〔定員〕 150名(申込順、参加費無料) **※事前申込制**

〔申込方法〕 **※申込締切は11月18日(火)17時**
次のいずれかの方法でお申込みください。

- ①専用申込フォームから申込み
(栃木県電子申請システム)
- ②申込書に必要事項を記入し、
栃木県立図書館へFAX又は持参
※電話申込はできません。



〔申込み・問合せ〕 栃木県立図書館 企画協力課

TEL:028-622-5113 FAX:028-624-7855

E-mail: kikakuka@lib.pref.tochigi.lg.jp

令和7(2025)年度
文芸講演会

乗代雄介氏
「小説と風土
-栃木で物語を探した日々-」

〔プロフィール〕
1986(昭和61)年、北海道生まれ。法政大学
社会学部メディア社会学科卒業。「十七八より」
で群馬県新人文学賞受賞。『本物の読書家』で野間
文芸新人賞受賞。『旅する雑誌』で三島由紀夫
賞、坪田謙治文学賞を受賞。『それは誰』で織田
作之助賞、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。
著書に『十七八より』『最高の任務』ミックス
エイヴォリーのアンダーペンシツ訂読する練習
『皆のあらばしり』(二十四五頁)などがある。

11/29(土)
13:00~15:00
栃木県庁 研修館講堂
(宇都宮市馬場1-1-20 ※本館北側)

・開場 / 12:30 ※13:00までにご来場ください。
・優良読書グループ表彰式 / 13:00

定員 **150人**
参加費無料(先着申込順)

企画

文芸講演会関連ロビー展示

「栃木県が舞台の小説～現代編～」

11月29日(土)に開催する文芸講演会を記念して、図書館1階ロビーにおいて、講師・乗代 雄介氏の著作を展示しています。

また、乗代氏の著作『皆のあらばしり』が栃木市を舞台にした作品であることから、本県を舞台とする現代小説を紹介する展示を併せて開催中です。

〔期間〕 令和7(2025)年9月26日(金)～11月30日(日)予定

第404号の
主な内容

- ・文芸講演会開催、関連展示お知らせ…p.1
- ・映画「島守の塔」鑑賞会…p.2
- ・県民ライブコンサートほか…p.2
- ・＜連載＞館長コラム…p.3
- ・図書館活用講座・ロビー展示の報告…p.3
- ・子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ研修…p.3
- ・＜連載＞司書の日(おすすめ本紹介) …p.4
- ・イベント案内&カレンダー…p.4

映画「島守の塔」鑑賞会を開催しました

映画「島守の塔」は、太平洋戦争末期の沖縄を舞台に、人々の命を守ろうと懸命に尽力した知事と警察部長の姿を通して命や平和の尊さを描いた作品です。沖縄県警察部長を務めた荒井退造（あらいたいぞう）氏は、栃木県清原村（現宇都宮市）出身でした。

当館では、この映画の上映権付きDVDを地域資料として所蔵しており、戦後80年の節目の年に鑑賞会を開催しました。北は那須烏山市、南は足利市と県内各地から81名の方にご参加いただき、参加者の中には、実際に戦争を経験された世代である90代の方もいらっしゃいました。

当日は会場内に用意した関連図書等も手にとっていただき、地域の歴史や本県ゆかりの偉人について、また県立図書館の収集資料について、県民の皆様にご覧いただける機会となりました。今後の開催を望む声も多数お寄せいただきましたので、同作品の再上映のほか、同様の催しを検討していきたいと思っております。ご参加ありがとうございました！



〔開催日〕 令和7(2025)年8月11日(月・祝) 会場:1階ホール



県民ライブコンサートほか（実施報告と今後の予定）

コンサート

今年度の県民ライブコンサート全6回のうち、第2回、第3回のコンサートを以下のとおり開催しました。多くの方にご来場いただきありがとうございました。

【第2回】 7月13日(日) クラリネットとピアノによるコンサート 三浦美春 井浦真弓

【第3回】 8月17日(日) 電子オルガン(エレクトーン)によるコンサート 柏崎直之



【第2回】



【第3回】



今後の予定は以下のとおりです。各公演の詳細は、館内及び当館ホームページで配布しているチラシをご覧ください。なお、チラシは公演の約1か月前から配布しています。

【第4回】 小オーケストラによるコンサート
(題名のある音楽会 Vol.6)

日 時 令和7(2025)年10月12日(日)
14時30分開場 15時開演

会 場 栃木県立図書館1階ホール

出 演 斎藤享久 ほか

曲 目 無伴奏チェロ組曲(ビオラ版) 等

【第5回】 11月23日(日) 黒田歩 上野茜 森岡桃子
うたとフルートで綴る午後のひととき

～秋の名曲コンサート～

【第6回】 12月21日(日) 大木朋香

ピアノと朗読のコンサート【子ども対象】

■視聴覚室展示

「チャーリー・パーカー 没後70年」展示中



■レコード・コンサート

当館所蔵の滝澤コレクション等から選定したレコードを使用し、コンサートを開催しています。今年度第1回は以下の日程で開催しました。

【第1回】 9月19日(金) 『1970年代の歌姫』ロバータ・フラックを聴く

会場:1階視聴覚室内鑑賞室

「こころとあたまの、深呼吸。」

2025年読書週間標語



「観測史上最高」、「観測史上最多」…今年の夏も、気象に関するニュースでたびたび耳にした言葉です。宇都宮の2025年6月から8月までの平均気温は速報値で26.8℃で、観測史上最高だったそうです。そして、今年に入ってから8月31日までの、最高気温35℃以上の猛暑日の日数は、26日と観測史上最多となりました。9月に入っても記録は更新されており、この原稿を書いている時点でも真夏並みの暑さが続いています。6月から8月までの平均気温のこれまでの観測史上最高は、2023年と2024年の26.1℃。気象庁のホームページを見ると、2023年より前の最高値は2010年の25.6℃、その前は1978年の25.0℃まで遡ります。平均気温が上昇傾向にあるのは明らかなことですが、ここ3年連続で観測史上最高を更新し続け、上昇幅も大きくなっている記録を目の当たりにすると、温暖化も新たな段階に突入しているのではないかと危惧の念を抱いてしまいます。

この暑さで、熱中症とまではいかなくても身体の不調を覚える方も多いと思います。暑いと息苦しく感じることがありますが、実際、高温多湿の夏の空気は酸素が薄く、身体に取り込まれる酸素量が低下するのだそうです。また、体温を下げるのに必要なエネルギーを作るために、心拍数や呼吸数が上がって呼吸が浅くなりがちになることも不調の要因なのとか。そのため、不調への対処法のひとつとして、深呼吸を意識することが効果的なのだそうです。

今年「2025・第79回読書週間」の標語は、『こころとあたまの、深呼吸。』です。息苦しいような暑さの中でこの標語を目にすると、張り詰めていた空気がふっと緩んで、爽やかな風が吹き込んでくるような気分になります。こころとあたまにとっての深呼吸は読書。読書週間が始まる10月27日には、読書が楽しめる快適な秋の気候になっていることを願いつつ、本を開いてこころとあたまにも酸素を満たしていきましょう。

(栃木県立図書館長)

実施 報告

図書館活用講座・ロビー展示

■図書館活用講座

小学校4～6年生を対象に、図書館資料を使った調べものの体験講座を開催しました。午前・午後の2回で22名が参加し、自分が生まれた日について調べた「BIRTHDAY BOOK」の作成などに取り組みました。

〔日時〕 7月24日(木) 第1回:10時～12時 第2回:14時～16時

〔場所〕 当館2階公開資料室ほか

〔内容〕 講話「図書館入門」、館内見学、調べものの体験「BIRTHDAY BOOK」作成



■ロビー展示「本でたどる昭和・平成・令和」

令和7(2025)年は、昭和の開始から100年及び終戦から80年の節目となります。昭和元年から本年までの簡易な年表・昭和の文化を紹介するパネルのほか、当館所蔵の関連資料約150点を展示しました。

〔期間〕 7月25日(金)～9月24日(水)



お知らせ

【公開講座】

子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ研修

本研修は、子どもの読書ボランティア指導者等を対象に全5回の連続講座として開催しています。このうち、第1回講座を10月25日(土)13:30～15:00に公開講座として、Zoomによるオンラインで開催します。申込締切は10月17日(金)です。

講話:「紙かデジタルか、最適な環境を考える～これからの読書と読書環境について～」

講師:群馬大学情報学部教授 柴田 博仁 氏



申込フォーム



わたしの1冊 読んでみませんか？

『経済成長とモラル』

(ベンジャミン・M・フリードマン／著)

東洋経済新報社 2011)

近年、ニュースを見聞きしていて、物騒な世の中になったなど感じながら仕事をしていたある日、偶然、今回ご紹介する本を見つけました。

本書は、経済成長と社会的道徳心との関係を、主にアメリカの歴史と経済成長の推移を事例に検証しています。経済成長が、多くの人々の生活水準が向上させるものであるなら、その社会の寛容さが増す、社会的経済的な機会が増す、デモクラシーを重視する等の傾向があるとのこと。

アメリカの著名な経済学者が書いた300ページ以上の本ですが、難しい数式は出てきません。おおよそ南北戦争から西暦2000年頃までのアメリカ経済・社会史のような内容です。なお、今回紹介する日本語訳は、原著の抄訳であり、全文ではないが原著のエッセンスを抽出したものであるとのこと。

警察庁がまとめている「犯罪情勢」の令和6年のものによると、刑法犯の認知件数が、戦後最小となった令和3年から3年連続で増えたとのこと。経済に関する数字を見ると、近年の日本は日経平均株価が上昇傾向にあり、完全失業率もほぼ横ばい(2022年から2024年)。一見、悪くないように見える日本経済全体の動き。その恩恵が個人に反映されない結果が、犯罪に関する数値に表れているのではないかと、今回ご紹介した本を読んで思うところです。(沙)

司書が日常の中で接した本から、おすすめの1冊をご紹介します。



イベント案内

■文芸講演会 ※事前申込制

「小説と風土 - 栃木で物語を探した日々 -」

講師: 乗代 雄介氏

11月29日(土) 13時開会 (県庁研修館 講堂)

■県民ライブコンサート ※申込不要 (1階ホール)

・10月12日(日) 小オーケストラによるコンサート

(題名のある音楽会Vol.6)

・11月23日(日) うたとフルートで綴る午後のひととき
～秋の名曲コンサート～

・12月21日(日) 【子ども対象】ピアノと朗読のコンサート

■館内展示

地下1階 読書活動支援室

・栃木子どもの本の講座 連携展示(10月22日まで)

・〔美術館連携〕(10月25日から)

宮城県美術館コレクション 絵本のひみつ展

1階 ロビー

・文芸講演会 関連展示

・チャーリー・パーカー没後70年(視聴覚室前)

2階 公開資料室

・やさしいきもちで支えあう～共に生きる社会へ～

3階 地域資料室

・〔文書館連携〕(10月21日から)

文書が織りなす とちぎの木綿

・〔博物館連携〕

“異”常の色・形～時に思いが宿るもの～

・〔美術館連携〕(10月25日から)

宮城県美術館コレクション 絵本のひみつ展

4階 公開資料室

・2025年 ノーベル賞(10月下旬から)

図書館カレンダー

※□は休館日です。最新情報はホームページをご確認ください。

11月22日、12月20日・29日～1月3日は県庁地下駐車場が利用できません。

10

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

11

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

12

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31



栃木県立図書館報
図書館だより 第404号

発行日 令和7(2025)年10月



発行 栃木県立図書館
〒320-0027 宇都宮市埴田1-3-23
TEL 028-622-5111(代表)
E-mail: tochilib@lib.pref.tochigi.lg.jp
HP: <https://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/>